

行/事/予/定

5月~7月

- 5月12日(月) 防災委員研修会(1回目)【大歳地域交流センター】
- 5月19日(月) 防災行政無線整備地域説明会【大歳地域交流センター】
- 5月25日(日) 大歳地区分館対抗バレーボール大会【県スポーツ文化センター】
- 5月28日(水) チャレンジデー2014
- 5月30日(金) 大歳地区交通安全対策協議会 総会【大歳地域交流センター】
- 5月31日(土) 大歳小学校運動会【大歳小学校】
- 6月 7日(土) おおとし防災の日関連イベント【大歳地域交流センター】
- 6月 8日(日) 大歳地区分館対抗ソフトボール大会【榎野川運動公園】
- 7月 6日(日) 大歳地区卓球大会【大歳小学校体育館】
- 7月13日(日) 大歳草刈隊作業日
- 7月下旬~ 大歳小学校屋内体育施設建替え工事



おおとしかわの版

Information

■手形こいのぼりを福島市へ送りました

例年、大歳小学校の入学式に“新入生が元気で登校する”ことを願い、掲げている「手形こいのぼり」を、昨年度実施した東北被災地交流支援事業を通して、新たな交流のきづなが生まれた福島市に送付しました。

これは、大歳自治振興会子ども部会と民生児童委員協議会の方々の発意により、“福島市の子もたちが元気になるように”との思いを込めて寄贈されたものです。

民生児童委員協議会長の野々村寿代さんに聞きました。

「小林福島市長より、「子どもたちも励みになり、福島に生まれてよかった。育ててよかったと思うことでしょう。子どもたちを見守る象徴として掲揚します。」との礼状がとどいている。」とのことでした。



昨年8月東北被災地交流支援事業で東北を訪れたときの様子



▲大歳小学校正門前の鯉のぼりウロコが手形になっています

■山口市消防団 鴻南方面隊 大歳分団の消防車庫が完成しました

かねてより懸案だった大歳分団消防車庫が大歳地域交流センターの敷地内に完成し、渡辺山口市長ならびに関係者が列席して落成式が行われました。

大歳分団 坂本清分団長さんに伺いました。

「平成26年3月28日、消防車庫及び防災倉庫の上棟式を執り行いました。団員一同感謝と責任感を改めて感じているところです。また、シャッターに描かれている絵は大歳小学校四年生の生徒さんの作品です。『がんばれ消防団』の力強いメッセージに我々団員一同も、この文字を心に刻み、郷土愛護の精神を忘れず、関係機関との連携を密にして、一層精進したいと思います。今後とも、皆様のご支援ご協力の程よろしく申し上げます。」

▼車庫の入口のシャッターに絵が描いてあります。見てね!



分団長 坂本清さん

編集後記 目に青葉の美しい季節になりました。先日30年ぶり?に大歳地区の体育祭に参加しました。当初、繰出係だったのですが、「怪我をしないように!」と体育委員の心配をよそに、最後はパン食い競争まで出て結構盛り上がったのは私だけでしょうか。(内田)

まちづくりかわら版 おおとし 2014.5 Vol.27

●大歳自治振興会長あいさつ

「おおとしは 元気なあいさつ ひびくまち」

大歳自治振興会長 吉富 滋浩



さあ、いよいよ、第2次大歳地区地域づくり計画が始まります。

地域づくりにおいて、「あいさつ」は、人と人がふれあう上で非常に重要なものです。積極的に交わせば交わすほど他人とのつながりが増え、親しみも感じます。

皆さんは一日何回挨拶をしますか。「おはよう」、「こんにちは」と特に意識することなく自然に口にしていますか。しかし、価値観が多様化するご時世、苦手な方もおられます。また、高齢者の方、一人暮らしの方が多くなり、挨拶を交わすこともない人が増えています。

そこで、第2次地域づくり計画の「ふれあい活動促進策」の一つとして「おおとしは 元気なあいさつ ひびくまち」をスローガンに、「あいさつ運動」に取り組みます。

地域内の方々と気軽に挨拶しましょう。一言の挨拶がきっかけとなって、親しみが生まれ、暮らしやすさにつながります。

まちづくりの主演は 地域の皆様です。

一緒に地域づくり活動に参加して、「明るく住みよい おおとし」を創りましょう。



大歳地区一斉清掃



地域交流センター前に張られた「あいさつ運動」の横断幕

■「まちづくりかわら版おおとし」の読者モニターになりませんか!!

- 対象：7月号から3月号までの5回記事を読んで、感想を毎回100字程度内にまとめて事務局へ提出頂きます。
- モニター期間：来年3月まで(1年間)
- 募集人員：5名程度
- 申込先：大歳自治振興会事務局
- 申込方法：下の電話、FAX、メールで申し込み
- ☎920-1700 FAX922-4036
- メールo104mati@c-abli.ne.jp
- 締切：5月31日まで

■ニーズ把握のためのアンケート調査を実施します!

あなたは、この「まちづくりかわら版おおとし」でどんな記事が読んでみたいですか?

次から選んでください。(複数回答可)

- ア. 大歳の地域づくりに関すること
- イ. 大歳の行事やイベント
- ウ. 大歳の歴史や史跡
- エ. 大歳で活躍している人
- オ. その他ア~ウ以外のこと…具体的に

○回答先：大歳自治振興会事務局

○回答方法：☎920-1700 FAX922-4036

メールo104mati@c-abli.ne.jp

○締切：5月31日まで ○抽選により10名の回答者に粗品を進呈

防災の心がけ…梅雨時期を迎えるにあたって

大歳地域は、榎野川と吉敷川・前田川・錦川・木崎川・法満寺川・朝田川とたくさんの川があります。朝田川は直接榎野川へ、その他の川は合流しながら最終的には、榎野川に流れ込んでいます。特に錦川と吉敷川の合流地点よりも下流側や、以前は水をためる小さなダム働きをしてきた田が近年宅地化し、降った雨が一気に水路に流れ込んでいきます。そのため、水路があふれる現象が起きています。皆さんの住宅の周辺をもう一度見直し、ゴミなどが集積していないか見てみましょう。

普段の心がけ

1 天気予報や気象状況に気を付ける

梅雨時や台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。

大雨や洪水等の各注意報・警報は、テレビ・ラジオでも流れるため、見落とさないよう注意しましょう。



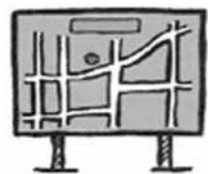
2 非常食や持ち出す物などを準備しておく

非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの(レトルト食品や缶詰等)を選びましょう。飲料水も忘れずに確保しましょう。また、懐中電灯や携帯ラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。



3 避難場所や避難経路を確認しておく

地区ごとに、緊急・災害時に避難する場所(学校、集会所)が定められています。自分の避難場所がどこなのかということ、そこへ安全に行くためには、どう行けばいいのかということを普段から確認しておきましょう。



4 大雨や台風に乗って家のまわりを点検整備しておく

家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や瓦、雨どいなどは痛んでいないかを確認しておきましょう。また、家の前の排水溝が詰まったりしていないかなどの確認も必要です。普段からの確認と整備が、被害を最小限に食い止める結果につながります。

水位が増す吉敷川にかかる黒川橋(平成25年7月)

緊急時の心がけ

1 市役所、消防署、消防団などからの警戒警報・避難命令などには速やかに従う

川の増水などは短時間のうちに一気に危険な状態になったりします。

避難命令が出るということは、もう相当危険な状態になっているということで、無視していたのでは、命に関わる被害を出しかねません。

命令等には速やかに従いましょう。



2 避難するときは、みんなと一緒に行動する

単独で避難することは非常に危険です。川に流されてしまったり、怪我をしてしまったとき、助けがやってくるまでに長い時間がかかり、命に関わる惨事を招きかねません。緊急時に動く時には複数で行動するよう心がけましょう。



3 持ち出す荷物はなるべく少なく、身軽に動けることを優先する

荷物を多く持ちすぎていると行動力が鈍り、逃げられなくなってしまうことがあります。必要最低限の物だけを持ち出し、機敏に行動できるような体勢で避難しましょう。



4 お年寄りや子供を優先し、落ち着いて行動する

避難する時あわてて行動すると、お年寄りや小さな子供など力の弱い者が危険な目に遭うケースが少なくありません。水防機関などの指示に従って落ちついて行動しましょう。(総務省消防庁等のデータから引用)

6月7日(土)に防災研修会を行います

大歳地区体育祭

裏方さんも頑張っています!

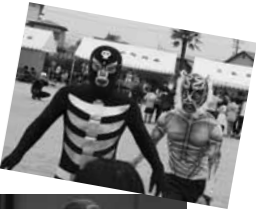
「今年も雨になったら、3年連続中止になるんです。」と悲痛な表情を見せたのは、大歳地区体育祭運営委員長の宮崎邦雄さん。4月19日(土)、体育祭の前日の夕方、天を仰ぎ心配そうにテント張りの準備をされているところへ伺いました。「昨年とはとても落胆したので、今年こそは多くの皆さんに参加してほしいと願っています。」と熱い思いを語られました。体育祭は、秋の大歳まつりと並び、大歳自治振興会の大きな行事で、地域交流センターの職員をはじめ、各自治会の体育委員、分館長、ボラ

ンティアなど100名近くの方々に支えられています。当日は早朝小雨が降りましたが、皆さんの思いが天に通じたのか、幸い曇りのまま天気もち、最後、表彰式では宮崎委員長から賞状やトロフィーを贈られ、無事に行事が終了しました。皆様本当にお疲れさまでした。



大会運営委員長宮崎邦雄さん

当日にはタイガーマスクやショッカーも駆けつけてくれました



前日のテント張りの様子



ライン引き

大歳 歴史の散歩道

吉敷川を渡ると石州街道は俗に旧道と呼ばれる道になります。江戸時代の山口の主な流通路は石州街道と榎野川の舟運だったようですが、明治以降、舟運が衰えると石州街道はますます重要性を増し、役所や学校・商店などもこの街道に沿って集積していきました。

大歳の7つの神社が現在の朝田神社に合祀される際に、旧街道から長い参道がつけられました。もともとこの地にあった住吉神社は水の神で、榎野川に向かって建っていましたから、朝田神社になると、神社の向きが正反対になったわけで、旧道を中心にまちが整備されていく様がよくわかります。こうして旧道は、用水路が側を流れ、家並みが続く独特の街路の姿を整えていったのでしょう。

しかし、陸上交通の発展と共に、街の様子が大きく変わっていきます。国鉄山口線が旧道の北側を走るようになるのが、1913年(大正2年)のことです。さらに自動車交通の重要性が叫ばれるようになると、国道17号(旧道)の狭さが問題となり、旧道の拡幅ではなく、新道の開設が浮上してきました。こうして、1932年(昭和7年)に新国道が完成しました。これが旧9号(現在の

石州街道 旧道

県道大歳・宮野線)です。更に1972年(昭和47年)から、バイパス工事が始まり、やがて、これが国道9号となっていきます。こうして、大歳では、新しく鉄道や道路が北側に次々とつくられていきました。北の道ほど新しいという道路の構造を大歳は最もよく示しています。

そして、旧道は幹線道路から、市道へとその役割を減少させていきましたが、現在では通学路や買い物道路として、どのように整備すればよいかかが問われ始めています。車に便利かどうかだけを基準にした道路観を改める契機を石州街道は示しているのではないのでしょうか。



朝田神社の参道(旧道入口)

大歳自治振興会 総会開催

4月18日(金)午後2時から、平成26年度大歳自治振興会の総会を、大歳地域交流センターで開催しました。冒頭、大歳自治振興会の吉富会長が、昨年の12月に策定した「第2次大歳地区地域づくり計画」の概要を交えて挨拶をし、その後、事務局から平成25年度の事業報告や収支報告、そして決算報告及び副会長を1名増員すること等の規約改正を提案し、すべて承認されました。休憩を挟んで、平成26年度事業計画と収支予算を吉富会長が説明、提案し、これらについても承認されました。

いよいよ、第2次大歳地区地域づくり計画がスタートします。

(※改正された規約と組織図はH.Pに掲載していますので、ご覧ください。)



平成26年度的主要事業内容

大歳自治振興会では、地域づくり活動を行う部会・委員会を設置し、各種事業や行事を連携しながら地域の住民である皆様と一緒に大歳地区の地域づくりを推進してまいります。

概要は、次のとおりとなっています。

(組織や事業等の詳細については、大歳自治振興会ホームページを参照ください。)

■地域振興分野(予算額: 1,325,000円)

- ・各自治会の活性化
地域づくり計画の説明会を開催します。
- ・各自治会の基盤強化
- ・地域情報の収集と発信
「まちづくりかわら版おとし」を発行します。
- ・あいさつ運動の推進
のぼり旗(あいさつ標語)の作成及び掲示をします。
- ・交通弱者に対する検討
コミュニティタクシーの導入検討
- ・交流センターの有効な活用
地域の要望により交流センターを増改築するための基本設計や実施設計が行われることになりました。



■地域福祉分野（予算額：250,000円）

- ・ 高齢者支援体制の充実
ふれあいサロンの立ち上げ支援など
- ・ 子育て支援の充実
親と子の広場「風和里」の開催など
- ・ 子ども会活動の活性化
子ども会立ち上げ支援

■安心・安全分野（予算額：1,535,000円）

- ・ 生活安全（防犯）対策の充実
わんわんパトロールの実施など
- ・ 交通安全対策の充実
高齢ドライバー1日ドック講習会の開催など
- ・ 災害安全対策の充実
自主防災組織の設立支援や防災委員の研修実施など
- ・ 見守り体制の充実
「おおとし見守り隊」による生活見守り・交通見守り活動の実施

■環境づくり分野（予算額：2,125,000円）

- ・ 環境美化活動の推進
大歳地区一斉清掃の実施や大歳草刈隊の活動推進など
- ・ 法定外公共物等の整備
法定外公共物（道路・水路）の整備支援など

■地域個性創出分野（予算額：2,651,000円）

- ・ 自治会内の交流促進
一自治会一事業の支援など
- ・ 地域内の交流促進
三世代交流事業の実施など
- ・ 住民総参加による地域の活性化
おおとし夏まつり、大歳まつりの実施など
- ・ ふるさと大歳の伝承
史跡看板の設置など
- ・ 花いっぱいの大歳づくり
花壇コンクールの実施など
- ・ 交流列車おおとし（大歳駅）の活用
「交流列車おおとし」の活用促進など

■その他（予算額：682,000円）

- ・ 大歳地区特別林野事業への負担金支出
- ・ 青少年健全育成活動への助成
- ・ 交通安全対策協議会活動への助成
- ・ 女性部会の活動女性"
- ・ その他、諸団体が実施する地域づくりを促進する行事に協力・支援

■大歳地区戦没者追悼慰霊祭

4月18日（金）、ご遺族を招いて、大歳地域交流センターで、慰霊祭が無宗教方式により執り行われました。



ご遺族代表による慰霊のことば



ご遺族代表による献水・献茶